

コラボレーションを成功させる3つのヒント

増加するWFH (Work From Home) や WFA (Work From Anywhere) の対応



#1 安全な接続を提供する

課題

パフォーマンスの低下によって、ユーザがVPNとネットワークセキュリティを回避してインターネットにダイレクト接続するようになり、ビジネスリスクが高くなる。



ヒント

クラウドネイティブのプロキシアーキテクチャは、従来のVPNやアプライアンスの制限や場所に縛られることなく、すべてのユーザ接続を保護します。

#2 高速かつスケーラブルなユーザエクスペリエンスを実現する

課題

ハードウェアベースのソリューションと仮想アプライアンススタックでは、在宅勤務中の従業員による、Office 365やTeams、Zoomに関連する多大な要求に対応できない。



ヒント

ゼットスケラーのSASE (セキュアアクセスサービスエッジ) アーキテクチャは、高信頼性の接続を容量制限なく可能にし、ユーザやトラフィックの需要の増加に応じて規模を増減できます。

#3 簡単に始めたい

課題

Office 365などのコラボレーションソリューションの導入で、コストを増大させ、拡張性が欠如したハードウェアソリューションを採用すると、複雑さが追加されるばかりです。



ヒント

目的に合わせて設計されたクラウドソリューションを数分で導入できます。ハードウェアやソフトウェアを購入したり管理したりする必要はありません。世界中のオンネットワークあるいはオフネットワークのすべてのユーザによる高速かつ安全なコラボレーションが実現します。

資料を読む

あらゆる場所で働くユーザのコラボレーションをゼットスケラーを採用することで実現する方法を資料でご紹介します。左のボタンからご確認ください。